

【広島市消費者物価指数】

1 平成23年9月の動向

- 広島市総合指数（100.2）は前月比で同水準。前年同月比は4か月連続で上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.1）は前月比で3か月ぶりの下落。前年同月比は5か月連続で上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.5）は前月比で下落。前年同月比は3か月ぶりの下落。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.2	0.0	0.1
生鮮食品を除く総合指数	100.1	▲0.3	0.3
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.5	▲0.1	▲0.1

3 前月からの動き

～被服及び履物、食料は上昇、交通・通信、教養娯楽は下落。～

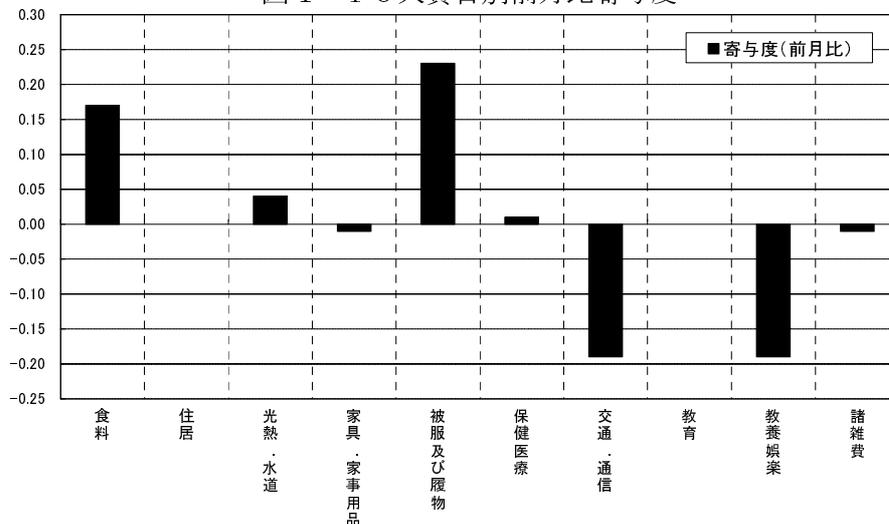
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.2	100.1	99.4	104.2	97.9	103.4	99.4	100.6	98.2	97.0	103.6
前月比 (%)	0.0	0.7	0.0	0.5	▲0.4	5.2	0.1	▲1.4	0.0	▲1.6	▲0.2
寄与度	0.0	0.17	0.00	0.04	▲0.01	0.23	0.01	▲0.19	0.00	▲0.19	▲0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 被服及び履物：洋 服（前月比 7.4%，寄与度 0.13）等
- 交通・通信：自動車等関係費（前月比 ▲1.3%，寄与度 ▲0.10）等
- 教 養 娯 楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲1.6%，寄与度 ▲0.10）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したものの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
野菜・海藻 (レタス 等)	11.5%	調理食品 (すし[弁当] 等)	▲3.8%
洋服 (婦人上着 等)	7.4%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.3%
シャツ・セーター類 (ブラウス[長袖] 等)	10.7%	教養娯楽サービス (宿泊料 等)	▲1.6%
魚介類 (さんま 等)	2.8%	交通 (鉄道運賃[JR] 等)	▲2.9%
電気代 (電気代 等)	0.8%	教養娯楽耐久財 (テレビ)	▲3.6%

4 前年同月からの動き

～諸雑費、光熱・水道が上昇し、食料、教養娯楽が下落。～

(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.1	▲1.0	▲0.5	3.3	▲0.3	1.9	▲0.5	1.3	▲0.2	▲2.2	4.8
寄与度	0.1	▲0.25	▲0.10	0.24	▲0.01	0.08	▲0.02	0.17	▲0.01	▲0.25	0.29

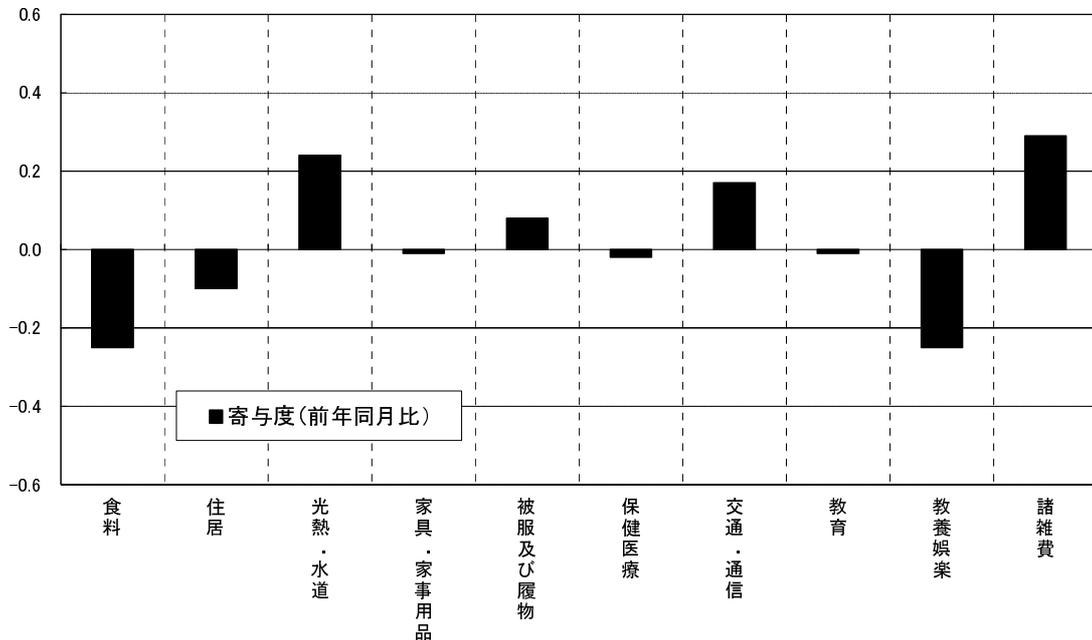
(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

諸雑費：他の諸雑費 (前年同月比 8.9%, 寄与度 0.16) 等

教養娯楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲14.7%, 寄与度 ▲0.29) 等

食料：野菜・海藻 (前年同月比 ▲2.6%, 寄与度 ▲0.08) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	8.9%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲14.7%
電気代 (電気代 等)	4.2%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲4.4%
たばこ (たばこ[国産品] 等)	38.3%	果物 (なし 等)	▲8.2%
自動車等関係費 (ガソリン 等)	2.0%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.5%
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	1.9%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲2.6%